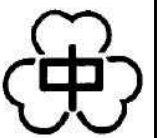


クローバー



校訓

健康
友愛
忍耐

校是

なしとげる
(成就)

2月号

学校評価について

山崎南中学校

教頭

谷尻

恒博

校区のみなさま方におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動に格別のご支援・ご協力を賜っておりまして、このころから感謝申し上げます。

さて、今年度の本校の教育活動につきまして、昨年十二月に「学校評価アンケート」をお願いしたところ、保護者のみなさまから学校を良くするため、多くの評価・ご意見をいただきました。

今年度本校では、重点目標の具体的な実践項目として、次の三点に取り組んでいます。

《令和六年度学校重点目標 実践項目》

①「信頼される学校」

②「社会的自立に向けて自ら挑戦し続ける生徒」

③「豊かな人間性・専門性をもち人権感覚のある教師」

アンケートは、これらの実践項目に沿って、生徒・保護者・教職員の三者で実施しました。

《評価方法》

A「そう思う」

B「どちらかといえばそう思う」

C「あまりそう思わない」

D「そうは思わない」

の四段階で評価して、全体の平均を

取って点数化しています。アンケートの結果を基に、今年度の本校教育活動の成果と課題を明らかにし、改善すべき点については次年度に向け、重点課題として取り組んでいきます。紙面では、アンケート結果の一部を提示し、次年度に向けての課題と改善点を挙げさせていただきます。

①「信頼される学校」

学校からの情報提供について、定期的な校報・通信の発行やホームページの更新で充実したものになりました。特に、ホームページについては「edumap」学校ウェブサイ

① 信頼される学校

評価項目	保護者	生徒	教員
学校からの情報提供	3.6		3.7
登下校時の安全対策	2.8	3.9	3.1
学校における安全対策（教育）	2.9	3.8	3.2
健康安全教育の充実	3.1	3.7	3.2
生徒指導の充実	3.3	3.7	3.3

登下校の安全対策は、交通安全教室の実施をはじめとした、日々の交通安全指導の徹底、教員による下校の着用を改めて推奨するなど、生徒一人ひとりの安全意識の向上をめざして取り組んでいます。生徒指導の充実について、スクールカウンセラーや宍粟市教育委員会

教育支援センター等の関係機関と連携し、全教職員が問題行動の未然防止・早期発見・早期対応の意識を高め、生徒が安心・安全に過ごせる環境づくりに努めています。

②「社会的自立に向けて自ら挑戦し続ける生徒」

学習指導について、キャリア教育の視点を強く意識し「聞く」「伝える」「継続する」力を学校生活の中で涵養していくことを大切にしてお

② 社会的自立に向け自ら挑戦し続ける生徒

評価項目	保護者	生徒	教員
学習指導の充実	2.7	3.6	3.2
道徳・人権教育の充実	3.1	3.9	3.4
キャリア教育の推進	2.7	3.3	3.4
体験学習・学校行事の充実	3.7	3.8	3.2

道徳・人権教育の充実に関しては、特に生徒一人ひとりの人権意識を高めることに留意しながら丁寧に取り組んでいます。今年度も部落差別をはじめとしたさまざまな人権課題について学習したり、福祉体験学習を各学年で実施したりしました。性の多様性についての学習等、新しい人権課題に対応する学習を含め、誰もが自分らしく暮らせる社会の実現をめざして取り組んでいます。

体験学習・学校行事の充実については、生徒の社会的自立に向けた取り組みとして、さまざまな体験学習を生徒の参画と協働の視点を大切にしながら各学年で実施しています。また、体育祭や文化祭は保護者や地域のみなさまの協力を得ながら、充実した取組にすることができました。

③「豊かな人間性・専門性をもち人権感覚のある教師」

専門性のある学習指導の充実につ

いては、学習をとおして「筋道を立てて考える力・情報を活用する力・自分の言葉でわかる力・自分の表現する力」を育成し、いくつかに「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」を協働的な学びを、実現できるような授業改善を意識する必要があります。

③ 豊かな人間性・専門性をもち人権感覚のある教師

評価項目	保護者	生徒	教員
専門性のある学習指導の充実	2.8	3.6	3.3
生徒理解に基づく生徒指導	3.2	3.7	3.3
保護者・地域・関係機関との連携	3.3		3.4
適切な部活動の指導	3.3	3.9	3.2
教職員の資質向上研修の充実			3.3

保護者・地域・関係機関との連携・探求学習の充実等、家庭的な学習と連携した教育活動をより積極的に推進します。

教職員の資質向上研修の充実については、信頼される学校づくりの基盤となるものです。授業力の向上はもとより、生徒理解に基づく丁寧な生徒指導、保護者・地域の方々との関係、教職員の連携強化と対応力の向上の充実を図ります。

自由記述において、多くの励ましの温かい言葉をいただき、建設的な課題のご提示をいただきました。みなさまからのご意見を真摯に受け止め、更に、生徒たちが「山崎南中学校が好きだ」と胸を張って言えるような学校づくりに取り組んでいきます。

ので、今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

ありがとうございます



防災担当

道岡 悠基

阪神・淡路大震災が発生してから三十年が経ち、その記憶は今も消えることなく多くの人々の心に刻まれています。毎年一月十七日に行われる追悼行事「1・17のつどい」では、遺族や市民が亡くなられた方々を悼み、「1995よりそう 1・17」の文字に灯籠をともして、その命を忘れずにここを寄せています。このような追悼行事は、過去の災害の教訓を次世代に伝え、未来の防災意識を高める重要な意味をもっています。

近年、日本各地で大規模な地震や津波、豪雨災害が相次いで発生し、その影響は深刻です。特に、石川県能登半島沖での震度七の大地震と、それに伴う津波は多くの人々に恐怖と悲しみをもたらしました。また、豪雨による災害では避難所が浸水するなど、復興に長い時間を要する状況が続いています。これらの事態を目の当たりにすると、災害に対する備えの重要性を改めて認識せざるを得ません。

本校では、災害時の備えとして毎年複数の避難訓練を行っており、一回目は、一学期に実施しました。新しく入学した一年生にとっては、初めての避難訓練となるため、その意義は非常に大きいものでした。教室の変更に伴い避難経路の確認も行いましたが、特に「いつ起こるか分からない」という意識を生徒に浸透させることが重要です。二回目となる一月十七日（金）には、地震が発生した場合の実践的な避難訓練を昼休みの時間に実施しました。生徒には訓練の実施を事前に告知せず、突然の地震を想定して避難を開始しました。昨年の経験を活かし、身を伏せる際の注意点や、頭上に落

下物がないか確認しながら安全な避難経路を選ぶことができました。生徒たちは冷静に判断し、自ら行動に移すことができたと感じています。また、訓練後の振り返りをおして、生徒たちが災害時に主体的に行動できるようになっていることが確認できました。

今後とも、継続した訓練やその後の振り返りをおして、教職員の連携の取り方や緊急時の対応を改善し、生徒たちの命を守るために必要な準備を着実に進めています。これらの経験は、生徒たちが自分の命を守るためにどのように判断し、行動すべきかを学ぶ場となり、より防災意識が高まっていると実感しています。

また、生徒会執行部主催の「命を尊ぶ」集会では、災害協力シミュレーションゲーム「ダイレクトロード 内陸の町」をおして、共助の重要性を学びました。このゲームは学年ごとの参加ではなく、縦割り班で行いました。異なる学年の生徒たちが協力し、互いに情報を伝え合いました。生徒たちは迅速かつ正確に情報を伝える重要性を実感し、問題解決に向けて協力して取り組みました。このような体験は、災害時に個々がどのように連携し、共に助け合うかを考える貴重な機会となりました。

災害時には、情報の伝え方や指示の出し方、避難方法の判断が重要であり、また、災害が起きてから行動するのでは間に合わない場合が多いことを生徒たちは理解したと思います。今回の取組をおして、生徒たちは「もしも」の時に備えた行動や考え方を学び、地域社会や家族とともに防災・減災について話し合うことの重要性を感じることができたと考えています。

防災・減災の取組では、「もしも」の時にどうすればよいかをあらかじめ考えておくことが大切です。このような訓練やシミュレーションをおして、災害への備えを強化し、個人だけでなく地域全体で協

力し合うことの大切さを再認識することができそうです。今後も本校では防災教育を充実させ、災害時に冷静かつ迅速に行動できる力を養っていきます。みなさまにおかれましては、この機会に防災について話し合い、お互いに支え合える体制を整えていただきますようお願いいたします。

命を尊ぶ集会生徒の感想

今回のシミュレーションでは、実際に災害が発生していないので、落ち着いて情報を共有できたけど、災害が本当に起こったときは混乱してうまくできないと思いました。

「できない」と「知らない」には大きな差があると思いました。実際に災害が起きた時にちゃんと行動できるかより、事前に知っておくことが大切だと、今回の防災学習で感じました。

班に分かれて、地震後の行動を考えまし

た。状況を口だけでしか伝えることができず大変でした。実際の災害のときも口だけでしか伝えられないと思ったので、いい経験ができました。

地震が一瞬で町を壊し、命を奪う恐ろしさ、地震に備え、みんなが助け合うことの大切さなど様々なことを学ぶことができました。このことを家族や次の世代へと伝えていきたいです。

改めて地震について学び、怖さや恐ろしさを感じました。地震についてよく学び、そして、大切な家族や友人を失わないように助け合おうと思いました。

南海トラフ地震が起こる確率が高まってきたので、今のうちから家族で話し合い、避難場所の確認など、しっかりと対策をして備えていきたいと思っています。

2月～3月
主な行事予定

- 17日（月） 県内公立高等学校推薦・特色選抜入試
山崎南中学校区パートナーシップ総会
- 21日（金） 県内公立高等学校推薦・特色選抜入試合格発表
- 23日（日） 天皇誕生日
- 24日（月） 振替休日
- 25日（火） 3学期期末テスト（～27日）
- 26日（水） 愛校作業（3年生）
- 27日（木） PTA本部役員会並びに理事会



- 3日（月） 3年生を送る会
- 6日（木） 卒業式予行
- 10日（月） 第36回卒業証書授与式
- 12日（水） 公立高等学校入学者選抜学力検査
- 13日（木） 小学6年生対象「体験入学」
- 19日（水） 公立高等学校入学者選抜学力検査合格発表
- 20日（木） 春分の日
- 24日（月） PTA会計監査、新旧PTA本部三役会議
- 25日（火） 第3学期終業式並びに令和6年度修了式
- 26日（水） 春季休業（～6日）

毎週月曜日は原則ノー部活動デーです。